

# 函館総合車両基地について

## 総合車両基地の概要



新幹線が北海道まで来ることによって、車両の整備・点検を行うための施設も必要になります。そのため、七飯町には新幹線の車両基地が建設中です。札幌開業時には、北海道新幹線における唯一の総合車両基地として北海道と本州とを繋ぐための重要な施設となります。

車両基地は、全体で約36ha（うち七飯町分27ha）という広大な面積を持ち、各検査庫・変電所・汚水処理場・じん芥処理場・調整池・事務室等の施設の他、札幌開業まではその工事設備も有する施設となります。

### 車両基地の役割

安心・安全で正確・快適な運行サービスを提供するため車両の全般検査を含めたすべての検査等を行います。

#### 開発部門

- ・車両の設計、開発
- ・新車の搬入、組立

#### 試験部門

- ・車両の試験運転
- ・車両技術支援システム

#### 運行部門

- ・車両の検査
- ・車体洗浄、車内清掃

### 車両基地の建設工事

現在は、建物建設の前の路盤整備工事を施工中です。進捗状況は定期的に更新します。

	路盤工事の内容
工期	平成20年2月22日～平成24年3月15日
工事場所	七飯町字飯田町・北斗市稲里
発注者	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
施工業者	鹿島・荒井・中山JV（特定建設工事共同企業体）
工事内容	約2mの盛土を行い、敷地全体が軟弱地盤であるためプレロードにより圧密沈下を促進させた後、排水設備・路盤工・舗装工を実施。試験盛土を行い、軟弱地盤に対する最適な対策工を選定し本体盛土を実施。
工事工程	平成20年度 工事用進入路造成・試験盛土・一部土工 平成21年度 土工 平成22～23年度 土工・排水設備・構内舗装工



# 車両基地の位置・写真



## 車両基地の位置図



## 路盤工事状況写真



(平成23年4月撮影 / 鹿島・荒井・中山JV提供)

車両基地工事写真

平成 2 0 年 1 1 月



平成 2 1 年 1 1 月



平成 2 2 年 1 1 月



平成 2 3 年 1 0 月



( 鹿島・荒井・中山JV提供 )

平成 24 年 9 月



(鉄道・運輸機構 北海道局建築課 提供)